

# 第 I 部 総論

## 1 水道の普及状況

本県の水道普及率は平成24年3月末現在、給水人口4,737千人で、総人口5,072千人に対し93.4%となっており、全国平均の97.6%に比べ4.2ポイント低い状況にあります。

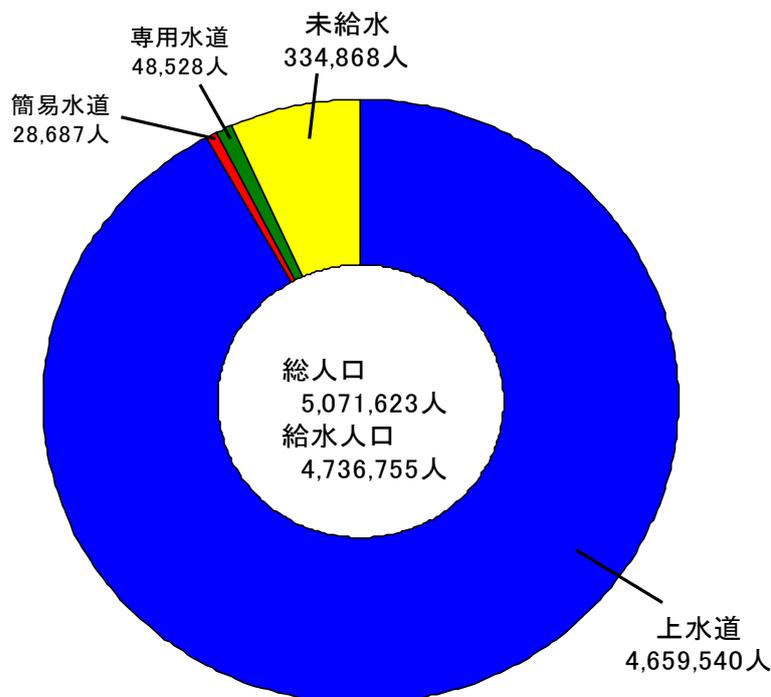
広域圏別では、福岡地域が96.3%と最も高く、次いで北九州地域が95.6%、筑豊地域が94.8%となっており、比較的地下水に恵まれた地域を抱える筑後地域が82.0%となっています。

### ◎ 現在給水人口と普及率 (平成24年3月末現在)

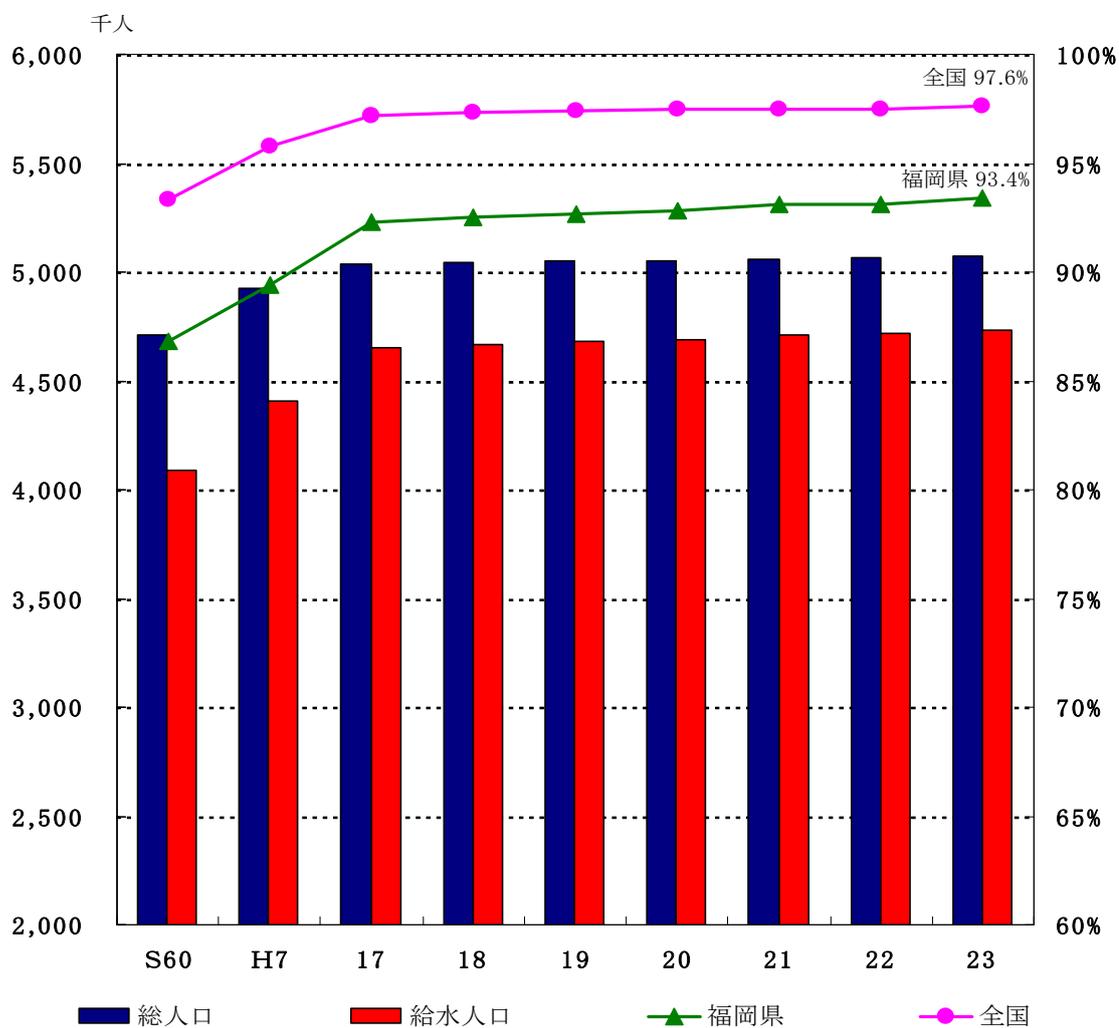
広域圏	総人口 (人)	現在給水人口 (人)			未給水人口 (人)	普及率
		上水道	簡易水道	専用水道		
福岡	2,433,123	2,342,029	2,313,870	2,161	25,998	96.3%
北九州	1,297,250	1,239,983	1,229,234	8,371	2,378	95.6%
筑後	912,033	747,652	717,370	12,288	17,994	82.0%
筑豊	429,217	407,091	399,066	5,867	2,158	94.8%
県計	5,071,623	4,736,755	4,659,540	28,687	48,528	93.4%

※ 専用水道は、自己水源によるもののみを計上

また、水道の種類別での給水人口の内訳は、上水道事業4,660千人、簡易水道事業29千人、専用水道49千人となっており、水道未普及人口は335千人という状況にあります。



◎ 水道普及状況の推移



		S 60	H7	17	18	19	20	21	22	23
総人口	(千人)	4,708	4,926	5,037	5,043	5,049	5,053	5,060	5,067	5,072
給水人口	(千人)	4,090	4,404	4,650	4,666	4,680	4,691	4,710	4,716	4,737
普及率	福岡県	86.8%	89.4%	92.3%	92.5%	92.7%	92.8%	93.1%	93.1%	93.4%
	全国	93.3%	95.8%	97.2%	97.3%	97.4%	97.5%	97.5%	97.5%	97.6%

## 2 給水の状況

### (1) 年間給水量

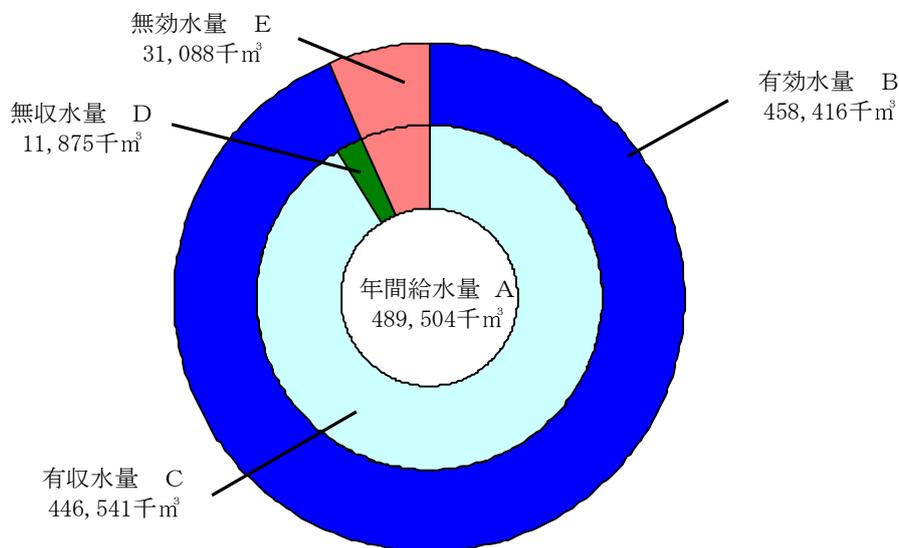
本県の平成 23 年度の年間給水量は 489,504 千 $\text{m}^3$ となっており、前年度と比べ 5,668 千 $\text{m}^3$ 減少しています。そのうち、上水道による給水量は 486,661 千 $\text{m}^3$ とその大部分を占めています。

年間給水量の内訳は有効水量が 458,416 千 $\text{m}^3$ 、漏水などの無効水量が 31,088 千 $\text{m}^3$ となっています。

### ◎ 広域圏別給水量（上水道、簡易水道）

(単位：千 $\text{m}^3$ )

区分	広域圏	年間給水量 A (B+E)	有効水量 B	有効水量の内訳		無効水量 E	有効率 B/A	有収率 C/A
				有収水量 C	無収水量 D			
上水道	福岡	223,935	215,742	212,708	3,034	8,193	96.3%	95%
	北九州	144,179	131,038	125,743	5,295	13,141	90.9%	87.2%
	筑後	70,302	66,916	64,738	2,178	3,386	95.2%	92.1%
	筑豊	48,245	42,377	41,096	1,281	5,868	87.8%	85.2%
	計	486,661	456,073	444,285	11,788	30,588	93.7%	91.3%
簡易水道	福岡	206	187	186	0.6	19	90.8%	90.5%
	北九州	623	583	579	4	40	93.6%	92.9%
	筑後	1,328	1,041	1,013	28	287	78.4%	76.3%
	筑豊	686	532	478	54	154	77.6%	69.7%
	計	2,843	2,343	2,256	87	500	82.4%	79.4%
合計		489,504	458,416	446,541	11,875	31,088	93.6%	91.2%



- 年間給水量：水道事業者が自己の給水区域に対して給水した量
- 有効水量：メーターで計測された水量(有収水量+無収水量)
- 有収水量：水道料金徴収の基礎となった水量
- 無収水量：料金徴収の対象とならなかった水量(管洗浄用、公衆便所用等)
- 無効水量：配水管からの漏水等無効となった水量

(2) 用途別有収水量

上水道事業の有収水量の用途別内訳は、生活用が 356,508 千 $m^3$ 、業務・営業用が 78,284 千 $m^3$ 、工場用が 7,343 千 $m^3$ 、その他が 2,150 千 $m^3$ となっており、生活用、業務・営業用がその大部分を占めています。

◎ 広域圏別用途別有収水量（上水道）

(単位：千 $m^3$ )

広域圏	生活用	業務・営業用	工場用	その他	計
福岡	169,925	41,724	573	486	212,708
北九州	98,893	21,391	4,199	1,260	125,743
筑後	51,870	11,208	1,624	36	64,738
筑豊	35,820	3,961	947	368	41,096
計	356,508	78,284	7,343	2,150	444,285
構成比率	80.2%	17.6%	1.7%	0.5%	100.0%

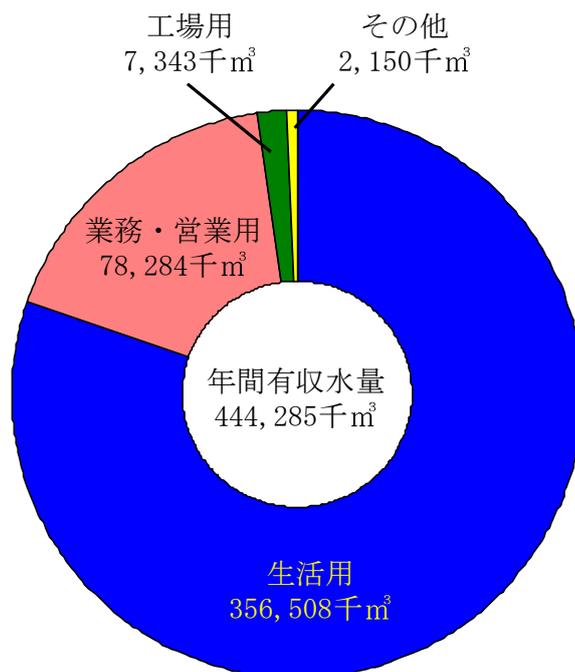
※ 用途区分は次のとおり

生活用：一般家庭用

業務・営業用：官公署、学校、病院、事務所、公衆浴場用等

工場用：工場用

その他：水道事業所用水、水道メーター不感水量等



(3) 平均給水量、最大給水量

平成 23 年度における県内の水道事業の一日平均給水量は 1,341 千 $m^3$ 、一日最大給水量は 1,527 千 $m^3$ となっています。

一人一日当たりでは平均給水量が 286 リットル、最大給水量は 326 リットルとなっており、広域圏別にみると、筑豊地域及び北九州地域が他の地域より多くなっています。

◎ 広域圏別平均給水量、最大給水量

広域圏	区分	平均給水量		最大給水量	
		日平均 ( $m^3$ )	一人一日 (リットル)	日最大 ( $m^3$ )	一人一日 (リットル)
福岡	上水道	613,521	265	676,578	292
	簡易水道	565	262	871	403
	計	614,086	265	677,449	293
北九州	上水道	395,011	321	443,401	361
	簡易水道	1,706	204	2,426	290
	計	396,717	321	445,827	360
筑後	上水道	192,608	268	230,836	322
	簡易水道	3,639	296	4,870	396
	計	196,247	269	235,706	323
筑豊	上水道	132,178	331	165,149	414
	簡易水道	1,879	320	2,656	453
	計	134,057	331	167,805	415
県計	上水道	1,333,318	286	1,515,964	325
	簡易水道	7,789	272	10,823	453
	計	1,341,107	286	1,526,787	326
全国	上水道	-	346	-	401

※全国は、平成 23 年度が未公表のため、前年度（平成 22 年度）を掲載

○ 平均給水量

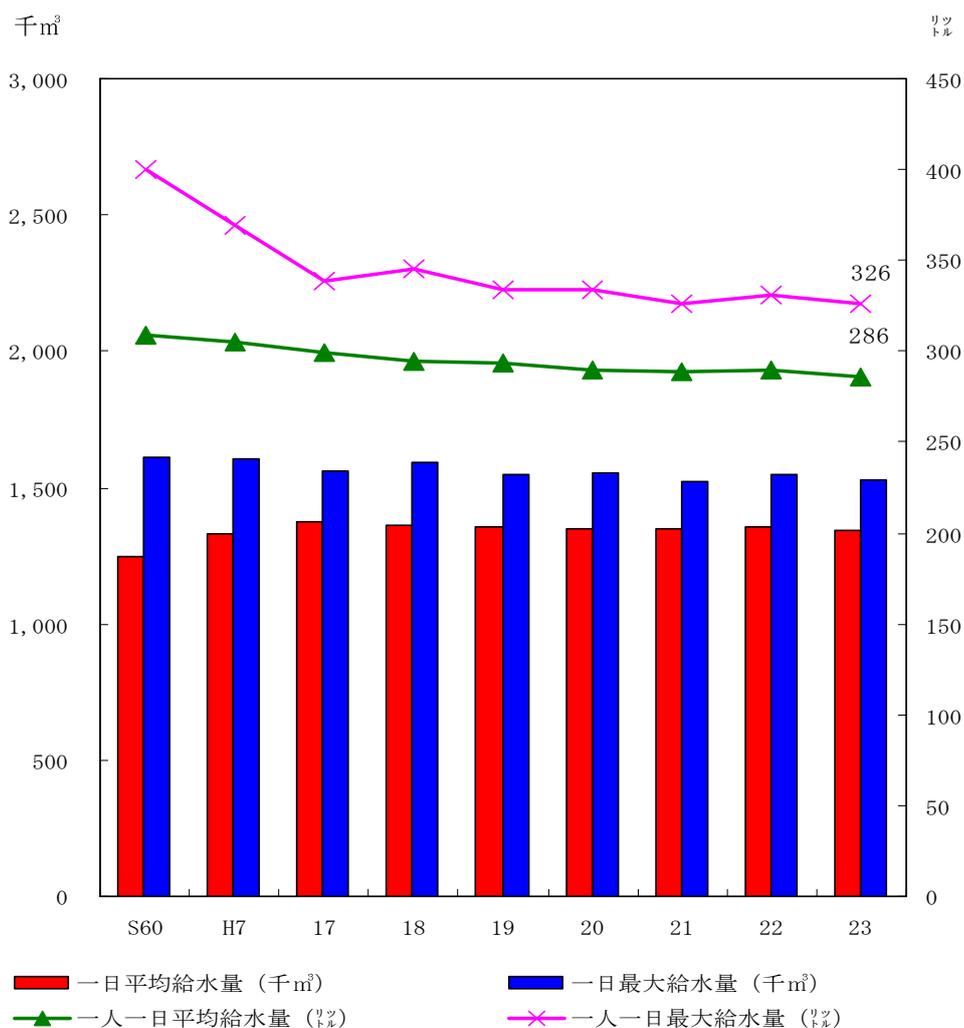
- ・日平均:年間給水量 ÷ 365日(1年)
- ・一人一日:日平均給水量 ÷ 給水人口

○ 最大給水量

- ・日最大:水道事業者ごとの日最大給水量の合計
- ・日最大給水量:日最大給水量 ÷ 給水人口

本県における一日平均給水量及び一人一日平均給水量は、近年ほぼ横ばいで推移しています。また、一日最大給水量及び一人一日最大給水量についても同様の傾向を示しています。

◎ 一日平均・最大給水量、一人一日平均・最大給水量の推移（上水道、簡易水道）



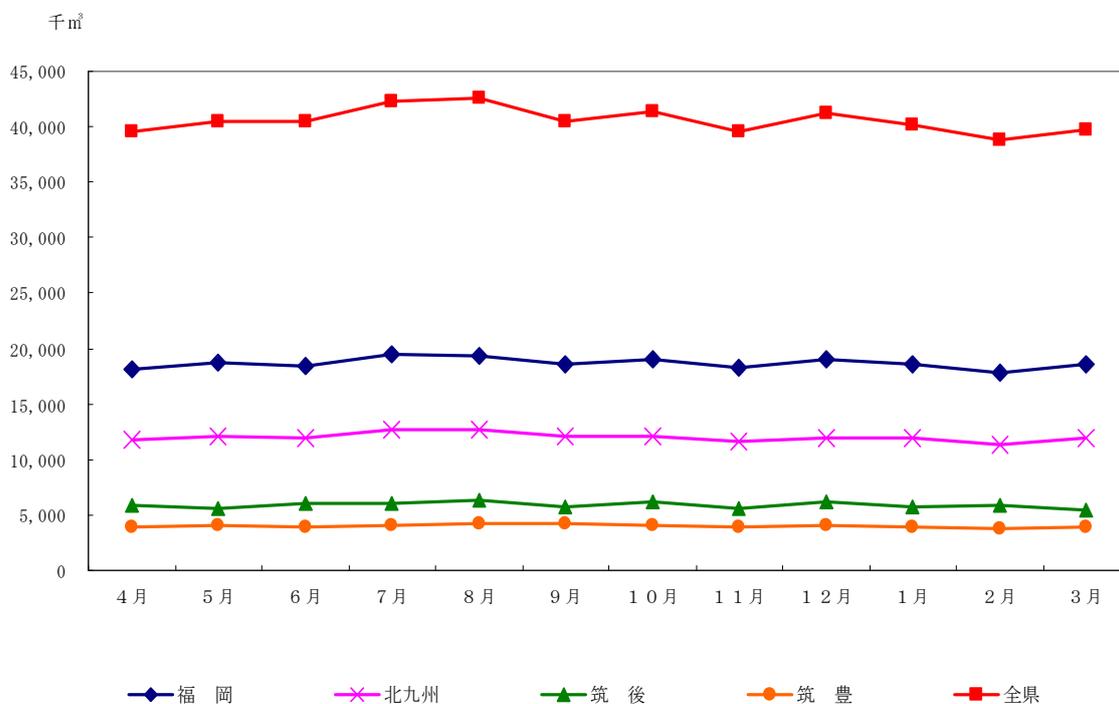
区分 \ 年度	S60	H7	17	18	19	20	21	22	23
一日平均給水量 (千m³)	1,245	1,329	1,376	1,361	1,359	1,348	1,347	1,357	1,341
一日最大給水量 (千m³)	1,611	1,607	1,562	1,591	1,548	1,552	1,520	1,546	1,527
一人一日平均給水量 (リットル)	309	305	299	295	294	290	289	290	286
一人一日最大給水量 (リットル)	400	369	339	345	334	334	326	331	326

(4) 月別給水量

平成23年度の上水道事業における月別給水量の最大は8月の 42,513 千 $m^3$ であり、最小は2月の 38,844 千 $m^3$ となっています。

広域圏別にみると、福岡地域の最大は7月の 19,547 千 $m^3$ 、最小は2月の 17,767 千 $m^3$ で、北九州地域の最大は8月の 12,682 千 $m^3$ 、最小は2月の 11,366 千 $m^3$ となっており、筑後地域の最大は8月の 6,373 千 $m^3$ 、最小は3月の 5,405 千 $m^3$ で、筑豊地域の最大は8月の 4,172 千 $m^3$ 、最小は2月の 3,841 千 $m^3$ となっています。

◎ 月別給水量（上水道）



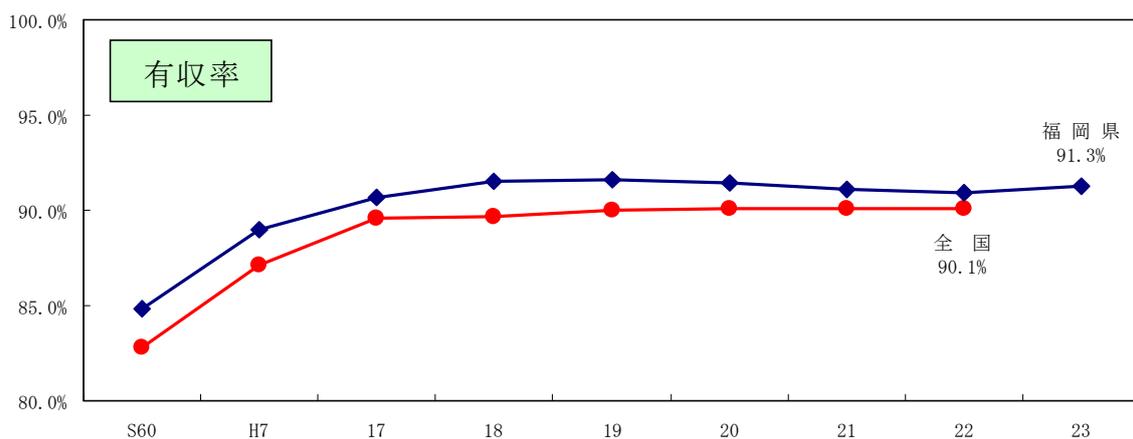
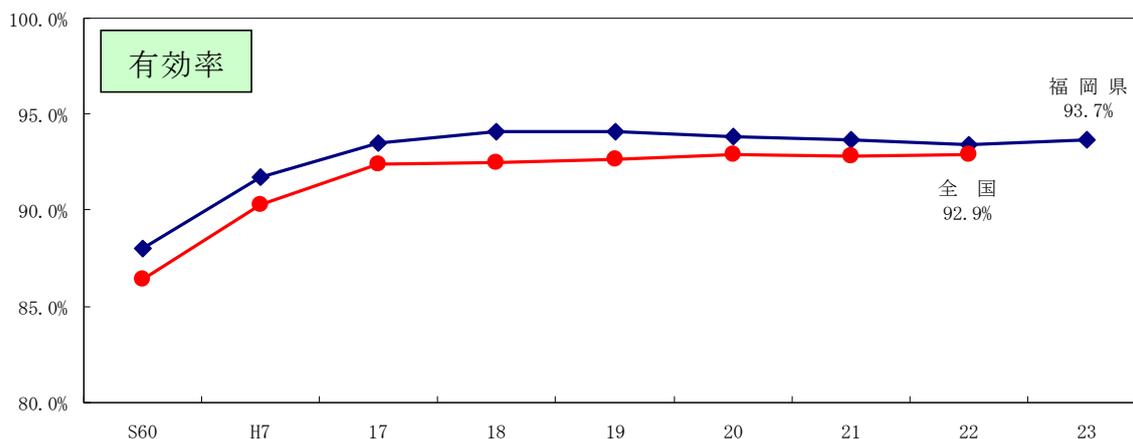
(単位：千 $m^3$ )

広域圏	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福岡	18,096	18,697	18,489	19,547	19,286	18,574	18,988	18,313	19,028	18,577	17,767	18,573	223,935
北九州	11,771	12,061	11,970	12,658	12,682	12,062	12,113	11,689	11,996	11,933	11,366	11,878	144,179
筑後	5,828	5,616	6,022	5,987	6,373	5,668	6,139	5,542	6,134	5,718	5,870	5,405	70,302
筑豊	3,926	4,024	3,967	4,140	4,172	4,160	4,145	3,984	4,040	3,938	3,841	3,908	48,245
計	39,621	40,398	40,448	42,332	42,513	40,464	41,385	39,528	41,198	40,166	38,844	39,764	486,661

(5) 有効率、有収率

上水道事業における平成23年度の有効率は93.7%、有収率は91.3%となっており、どちらも全国平均を上回って推移しています。

◎ 有効率、有収率の推移（上水道）



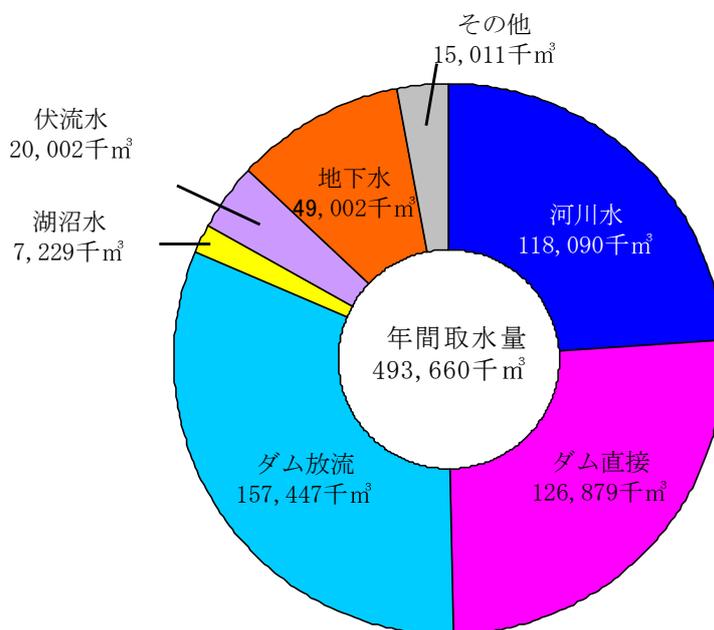
		S60	H7	17	18	19	20	21	22	23
有効率	福岡県	88.0%	91.7%	93.5%	94.1%	94.1%	93.8%	93.7%	93.4%	93.7%
	全国	86.4%	90.3%	92.4%	92.5%	92.7%	92.9%	92.8%	92.9%	未公表
有収率	福岡県	84.8%	89.0%	90.7%	91.5%	91.6%	91.4%	91.1%	90.9%	91.3%
	全国	82.8%	87.1%	89.6%	89.7%	90.0%	90.1%	90.1%	90.1%	未公表

- 有効率：年間給水量に対する有効水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度有効に使用されているかを示す指標
- 有収率：年間給水量に対する有収水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度収益につながっているかを示す指標

### 3 取水の状況

上水道事業及び用水供給事業の平成 23 年度における年間取水量は 489,323 千 $\text{m}^3$ で、そのうち河川(河川水、ダム直接、ダム放流)からの取水が 398,079 千 $\text{m}^3$ と大部分を占めています。

#### ◎ 年間取水量の内訳(上水道、用水供給)



#### ◎ 年間取水量の推移(上水道、用水供給)

(単位: 千 $\text{m}^3$ )

年 度	S60	H7	17	18	19	20	21	22	23
河 川 水	116,791	163,039	129,617	117,238	139,094	122,391	138,897	132,788	118,090
ダム直接	131,761	113,409	109,365	124,851	99,574	118,869	104,626	116,002	126,879
ダム放流	134,891	120,667	165,716	171,721	172,450	164,168	167,802	146,689	157,447
湖 沼 水	5,537	7,981	9,327	7,916	8,018	7,715	7,498	7,425	7,229
伏 流 水	22,736	24,389	31,518	22,851	21,812	18,056	20,063	21,563	20,002
地 下 水	47,998	56,701	49,135	46,747	48,533	47,532	48,137	50,275	49,002
そ の 他	1,003	1,429	24,138	22,320	29,444	25,765	26,959	29,995	15,011
(海水淡水化)	-	-	(23,497)	(21,623)	(28,795)	(25,205)	(26,183)	(29,209)	(14,208)
計	460,717	487,615	518,816	513,644	518,925	504,496	513,982	504,737	493,660

※ その他欄の( )は、海水淡水化施設で内数。(平成17年度以降)

## 4 財務の状況

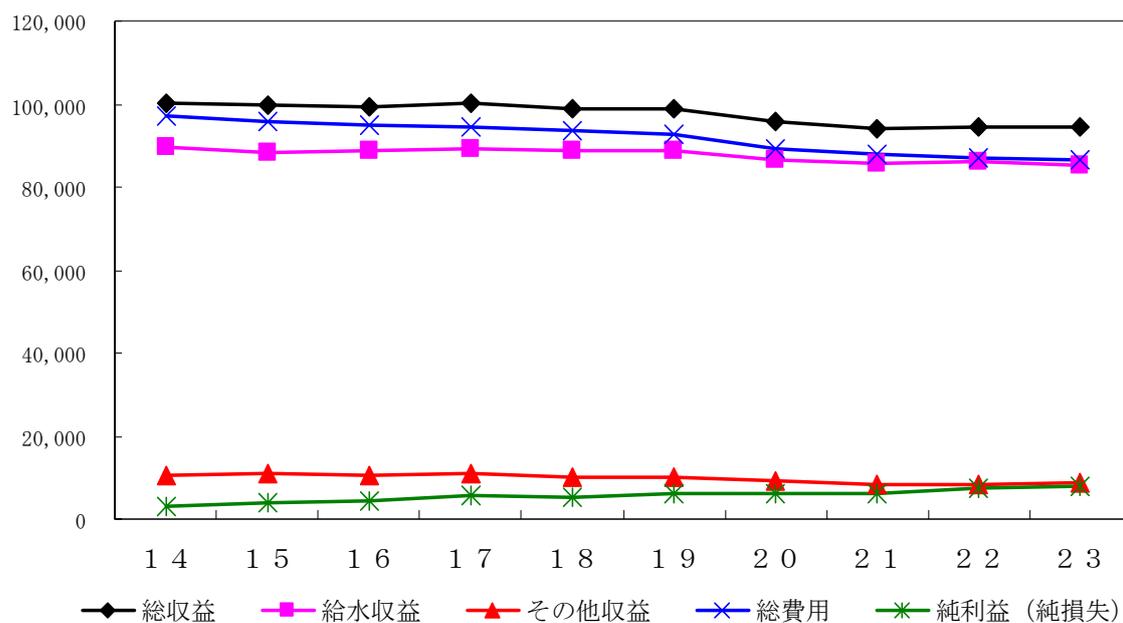
### (1) 総収益と総費用

平成23年度における上水道事業の総収益は944億円となっており、前年度と比較すると4千万円増加しており、総費用は4億6千万円減少しています。また、総収益から総費用を差し引いた純利益は79億9千万円と前年度から5億円増加しています。

### ◎ 総収益と総費用の推移（上水道）

(単位：千円)

年 度	総 収 益 (A)		総 費 用 (B)	純 利 益 (A) - (B)
	給水収益	その他収益		
14	100,354,128	10,630,816	97,124,321	3,229,807
15	99,672,599	11,151,152	95,729,747	3,942,852
16	99,204,559	10,385,606	94,810,766	4,393,793
17	100,047,167	10,799,439	94,507,398	5,539,769
18	98,795,941	10,131,160	93,537,038	5,258,903
19	98,824,166	10,250,193	92,608,199	6,215,967
20	95,636,195	9,138,524	89,317,396	6,318,799
21	94,048,911	8,349,431	88,084,623	5,964,288
22	94,376,472	8,179,069	86,888,804	7,487,668
23	94,415,833	8,924,002	86,423,294	7,992,539



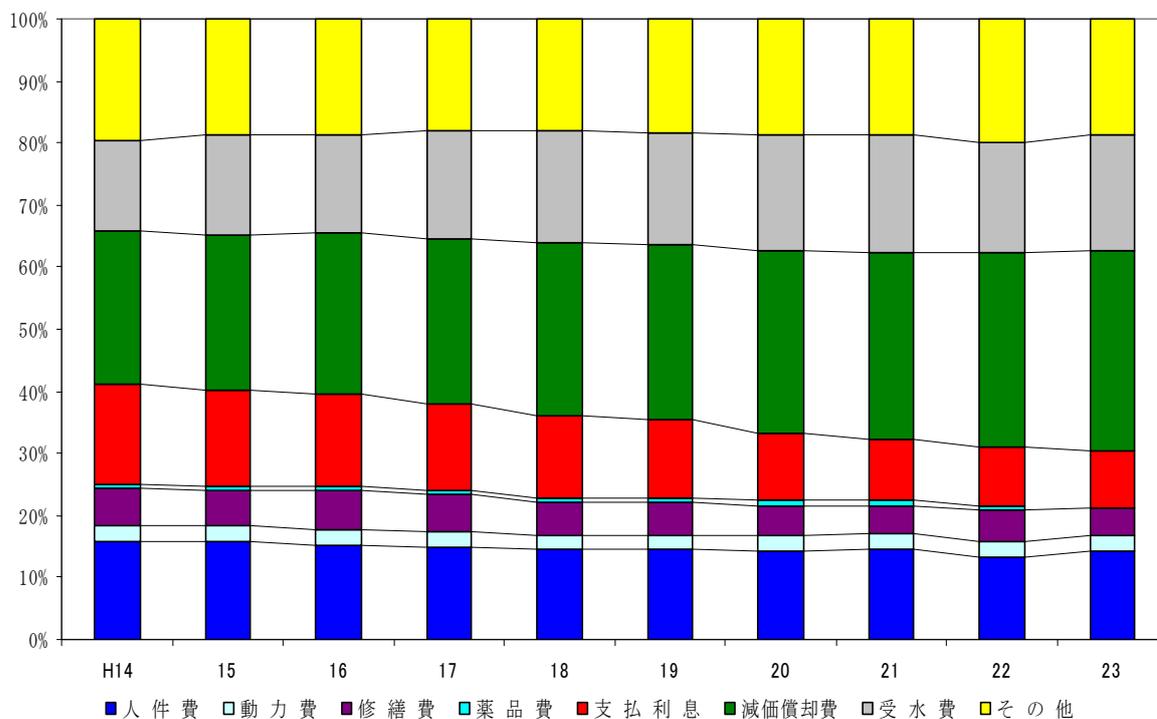
(2) 費用構成

平成 23 年度における上水道事業の費用構成の推移をみると、修繕費及び薬品費、支払利息は減少傾向を示していますが、減価償却費は一貫して増加傾向にあります。

◎ 費用構成の推移(上水道)

(単位：千円)

年 度	H14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
人件費	15,035,890 (15.7%)	14,881,041 (15.8%)	14,359,178 (15.3%)	14,004,073 (15.0%)	13,473,489 (14.5%)	13,326,208 (14.5%)	12,674,745 (14.3%)	12,753,005 (14.6%)	11,583,672 (13.4%)	12,163,184 (14.2%)
動力費	2,592,371 (2.7%)	2,359,489 (2.5%)	2,293,631 (2.5%)	2,249,976 (2.4%)	2,095,249 (2.3%)	2,194,508 (2.4%)	2,216,800 (2.5%)	2,135,244 (2.4%)	2,128,387 (2.5%)	2,151,859 (2.5%)
修繕費	5,547,921 (5.8%)	5,360,102 (5.7%)	5,696,300 (6.1%)	5,481,056 (5.9%)	4,894,972 (5.3%)	4,668,713 (5.1%)	4,229,611 (4.8%)	4,031,509 (4.6%)	4,172,701 (4.8%)	3,728,859 (4.4%)
薬品費	844,575 (0.9%)	521,181 (0.6%)	606,479 (0.6%)	694,760 (0.7%)	639,946 (0.7%)	711,474 (0.8%)	688,817 (0.8%)	847,235 (1.0%)	823,165 (1.0%)	652,646 (0.8%)
支払利息	15,602,872 (16.3%)	14,701,752 (15.6%)	13,963,110 (14.9%)	13,078,195 (14.0%)	12,408,242 (13.4%)	11,540,718 (12.6%)	9,559,580 (10.8%)	8,570,961 (9.8%)	8,201,306 (9.5%)	7,854,700 (9.2%)
減価償却費	23,386,131 (24.4%)	23,739,122 (25.2%)	24,341,977 (26.0%)	24,876,796 (26.6%)	25,536,256 (27.6%)	25,935,327 (28.3%)	26,095,868 (29.5%)	26,235,553 (30.1%)	26,946,549 (31.2%)	27,436,205 (32.1%)
受水費	14,063,968 (14.7%)	14,954,759 (15.9%)	14,919,555 (15.9%)	16,120,921 (17.3%)	16,761,061 (18.1%)	16,636,838 (18.1%)	16,317,695 (18.5%)	16,449,304 (18.9%)	15,330,453 (17.8%)	15,679,005 (18.3%)
その他	18,625,815 (19.5%)	17,736,298 (18.8%)		16,916,950 (18.1%)	16,879,258 (18.2%)	16,720,923 (18.2%)	16,656,167 (18.8%)	16,202,508 (18.6%)	17,113,673 (19.8%)	15,910,362 (18.6%)
計	95,699,543 (100.0%)	94,253,744 (100.0%)	76,180,230 (100.0%)	93,422,727 (100.0%)	92,688,473 (100.0%)	91,734,709 (100.0%)	88,439,283 (100.0%)	87,225,319 (100.0%)	86,299,906 (100.0%)	85,576,820 (100.0%)



## 5 水道料金（上水道）

水道料金は各水道事業者間で異なり、平成 24 年 3 月末現在における家庭用 1 ヶ月 20 m<sup>3</sup>当たりの料金は、下記の表のとおり 3,500 円以上 4,000 円未満の事業者が最も多く、18 事業者となっています。

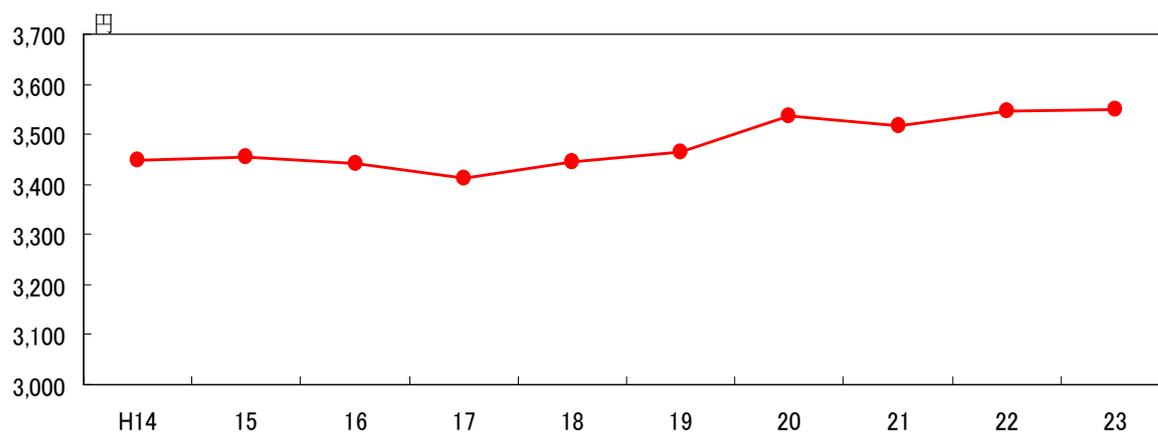
なお、家庭用1ヶ月 20 m<sup>3</sup>当たりの水道料金の県平均は 3,549 円となっています。

### ◎ 家庭用1ヶ月 20 m<sup>3</sup>当たりの水道料金（上水道）

（平成 24 年 3 月 31 日現在）

区 分	事業者数
2,000円以上～2,500円未満	5
2,500円以上～3,000円未満	8
3,000円以上～3,500円未満	8
3,500円以上～4,000円未満	18
4,000円以上～4,500円未満	10
4,500円以上	3

### ◎ 県平均水道料金の推移（上水道：家庭用 1 ヶ月 20 m<sup>3</sup>当たり）



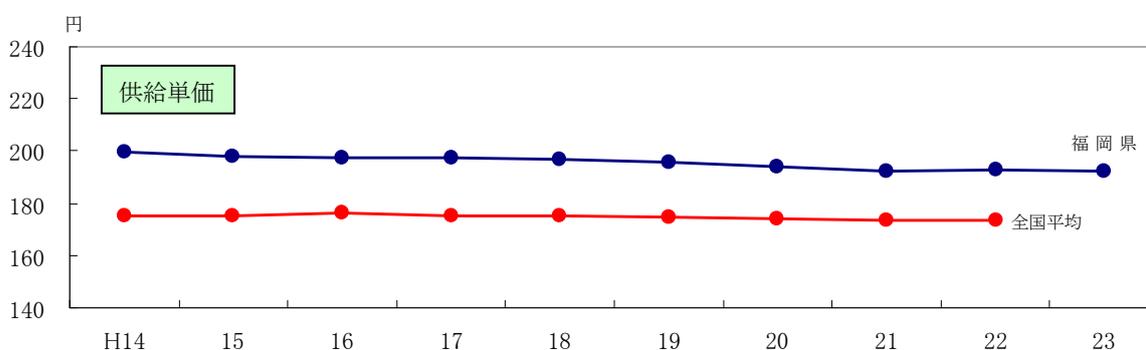
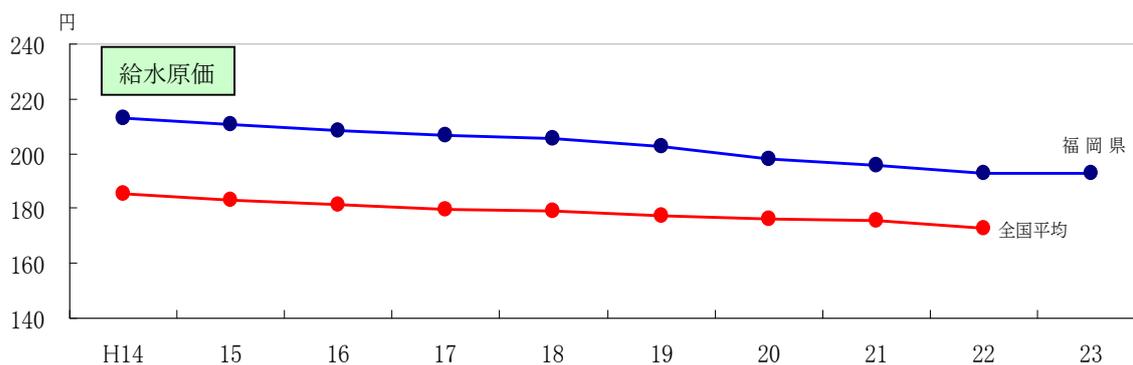
年度	H14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
福岡県	3,447	3,454	3,443	3,412	3,444	3,464	3,536	3,518	3,546	3,549

※ 基礎料金・メーター使用料を含む

## 6 給水原価と供給単価（上水道）

平成 23 年度における上水道事業の給水原価は 192.62 円/m<sup>3</sup>、供給単価は 192.43 円/m<sup>3</sup>となっており、推移をみると減少傾向を示していますが、全国平均と比べると上回っています。

### ◎ 給水原価と供給単価の推移（上水道）



(単位: 円/m<sup>3</sup>)

年度		H14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
給水原価	福岡県	213.10	210.84	208.20	206.78	205.62	202.89	198.17	195.97	192.86	192.62
	全国平均	185.16	183.36	181.16	179.74	178.83	177.45	176.35	175.47	172.65	未公表
供給単価	福岡県	199.80	198.02	197.62	197.54	196.69	195.90	193.82	192.54	192.64	192.43
	全国平均	175.19	175.17	176.09	175.21	175.20	174.78	174.31	173.51	173.46	未公表

- 給水原価：有収水量 1 m<sup>3</sup>当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを表すもの。
- 供給単価：有収水量 1 m<sup>3</sup>当たりについて、どれだけ収益をえているかを表すもの。